

りゅう げ あん
龍華庵



数寄屋造り、腰掛待合も備える本格的な茶室です。

命名及び扁額の揮毫は京都の龍寶山大徳寺瑞峯院住職前田昌道師によるもの。

祥雲閣を寄贈した青沼家が「見龍」という酒を造っていたこと、また「龍寶山大徳寺」の「龍」として名づけられました。

「龍華」は弥勒菩薩がその下で法を説いて人々を済度したとされる想像上の樹で、ここ「龍華庵」で多くの方が心豊かになるようにとの願いが込められています。



祥雲閣の四季



交通のご案内



- JR古川駅から徒歩約20分
- 東北自動車道古川インターより車で約10分

開館時間 9:00~17:00(最終入場16:30)
休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)
年末年始(12月29日~1月3日)
入館料 無料

お問い合わせ・お申し込み 祥雲閣

〒989-6105 宮城県大崎市古川福沼一丁目2番2号
TEL・FAX 0229-24-3385

2019.9発行



しょう
うん
かく
祥雲閣



祥雲閣の由来

祥雲閣は宮城県旧荒雄村長瀬の旧家、青沼家が所有していた貴賓館の名称です。明治時代今は亡き青沼彦治氏により村民の憩いの場として荒雄公園が造られ、その一角に貴賓館として建立されました。昭和28年6月に旧荒雄村(後に合併し古川市)に寄贈され、文化活動の拠点として広く親しまれてきましたが、昭和37年4月の宮城県北部地震による被害や老朽化によりやむなく建物を取り壊しました。その後荒雄公園は桜の名所として市民に愛され続け、平成2年、国の地域づくり推進事業の認定を受け、公園周辺の整備とともに新たな伝統文化の普及と研修の場とすることを目的とした建物の建設が始まり、平成6年由緒ある名前を継承し、開館致しました。



和室全景

十畳の和室が三間続きになっており、水屋も備えております。



立礼茶室

玄関左手に配しており、和室とは違った雰囲気の中で、気軽に茶の湯を味わっていただけます。



本格的な茶室で優雅なひとときを…



正面入口



玄関



研修室

文化向上の研修の場として幅広くご利用いただけます。